

1. 総 括

利用者の定員を20名から34名に増やし、就労移行支援との多機能事業所として2年目の今年度の最大契約者は43名となり、1日平均の利用者数は22.3人、延べ利用者数は、5622名であった。

鳥居跡町に移転し、二荒山神社の清掃を毎朝行ったり、まろにえ21のイベントや秋祭りに参加することによって、地域の人たちと積極的に交流することができた。まちの駅でのパン販売も好調で、工賃アップすることができた。丸紅基金の助成金で、次年度に向けて、地域の事業家と共同で工賃アップにつながる製品開発を行う準備ができた。就労移行支援と多機能になったことで、きめ細やかなアセスメントが可能になり、就労継続B型からも就職を目指せるプログラムが確立でき、一般企業への就職者を出すことができた。

2. 年間利用者数

(人)

月 開所日収	4月 21	5月 22	6月 21	7月 22	8月 20	9月 20	10月 22	11月 21	12月 21	1月 21	2月 20	3月 21	合 計 252
契約者数 (人)	38	39	40	42	43	44	41	41	42	42	42	41	(
退所者数 (人)				1	2	2			1	1		1	
新規契約 数 (人)		1	1	2	1	1			1	2			
1日平均 利用者数 (人)	24.6	25.5	24.6	26.0	23.9	25.7	24.5	25.1	24.7	25.5	24.9	26.3	22.3
延利用者数	517	562	518	573	479	515	539	528	520	537	499	553	5622

※主な欠席理由…体調不良・精神不安定・家事都合（通院など）

※契約者の状況

新規契約利用者： 9名

退所者： 8名 （他のB型事業所 2名、在宅 5名、一般企業 1名）

※契約者の障害種別数

知的障害者：20名 精神障害者：22名 身体障害者：2名

（知的・精神重複：4名 知的・身体・精神重複：1名 ） 合計41名

3. 担当職員

サービス管理責任者：宇賀神

生活支援員：大貫、関口、小森、鈴木順

職業指導員：金城、藤田、高波、竹澤

目標工賃達成指導員：高山、鈴木美

事務員：桐生

4. 就労支援事業

（1）職業（作業）支援

①製菓製パン部門

売上目標額 300万円（実績 505万円）

成 果

- ・障害手帳を持っている職員が一人で焼成できるようになった。
- ・食パンの値上げをしたが、売上は伸び続けた。
- ・定期的の菓子製造を行い、売上増につながった。
- ・こまめに新商品を出したことで売り上げ増につながった。

課 題

- ・新規職員の育成

②デリカフェ部門

売上目標額 350万円（実績 330万円）

成 果

- ・プレミアムCOCOVOが、地域の人々との交流の場になった。就職したOBの就労定着支援としても有効だった。（プレミアムCOCOVOに来ることをモチベーションに就労継続できた）
- ・総菜の固定客が徐々に増えて来ている。
- ・ワンコインランチを楽しみにしている利用者がいる。

課 題

- ・カフェの来客数を増やせない。（外観、駐車場に課題）
- ・職員の勤務体制の見直し（超過勤務をなくす）
- ・SNSを活用した広報に力を入れる。（フェイスブック、LINE、ツイッターなど）

③委託作業部門

《文星芸大清掃》

週3日（月、水、金） 文星芸術大学内の清掃業務

成 果

- ・利用者さんを働く仲間として大切にすることで、自ら意欲的に動けるようになり、責任感がでてきた。
- ・個別支援実施計画を作成し、一人ひとりをきめ細やかに評価し、具体的な目標を設定したことで、支援員のアセスメント力が上がった。

《ATM清掃》

週2回（月、金）及び2ヶ月1回の定期清掃

課 題

- ・安定して入れる利用者が少ない。

《下請け作業》

業者：中央パッケージ、シンコール、鎌田スプリング、マーサース、
トップなど

成 果

- ・中央パッケージ（ゼブラ）の仕事が増えたことで、すべての人が作業に取り組めるようになった。
- ・納品前に職員が製品チェックをしたことで、クレームが少なくなった。
- ・シンコールの作業を減らしたことで、学習会に参加できる人が増えた。

④自主製品部門

《ペットフード》

成 果

- ・都内取引店への顔を合わせての営業活動を行ったことで、CCVの取り組みを知ってもらえた。
- ・フェイスブックなどSNSでの広報活動を行い、商品の認知度を上げた。
- ・イベントに参加して、横のつながりを広げることができた。
- ・OEMでの商品展開ができた。
- ・新商品の開発ができた。

（３）収益事業の収支報告

- ・総売り上げ 13,316,119円（前年比 112%）
- ・工賃総支給額 5,088,210円（前年比 132%）
- ・支給人数 438人（前年比 114%）
- ・月額平均工賃 11,616円（前年比 115%）

＜月別工賃支給額＞

月	工賃支給額	支給人数	平均工賃
4	360,300円	34人	10,597円
5	388,730円	37人	10,506円

6	359,680円	36人	9,991円
7	387,530円	39人	9,936円
8	331,220円	37人	8,951円
9	339,380円	37人	9,168円
10	353,990円	35人	10,114円
11	433,980円	37人	11,729円
12	431,650円	37人	11,666円
1	432,990円	36人	12,027円
2	420,330円	37人	11,360円
3	848,430円	36人	23,567円
合 計	5,088,210円	438人	11,616円

※3月分は年度末手当を含む

就労継続B型事業

1. 職員会議、支援会議

(1) 職員会議

- ・毎月1回開催
運営会議、世話人会議、研修会等の報告
行事、余暇活動等の検討
施設内職員研修の実施

(2) 支援会議

- ・月に3回開催（文星支援会議、下請け支援会議、カフェ支援会議）
- ・支援計画検討・作成、モニタリング、ケース検討

(3) 総括・事業計画会議

- ・令和元年度事業総括会議
2月14日午後～15日
- ・令和2年度事業計画作成会議
3月6日午後～7日

2. 職員研修

- ・問題行動のある知的障害者の見立てと支援（宇賀神）
- ・施設カステップアップ事業1回、2回（宇賀神）
- ・自閉症スペクトラム症の人たちの生活と就労を考える（神戸、大貫、桐生）
- ・職場内のメンタルヘルス対策（神戸）
- ・虐待防止研修（宇賀神）
- ・虐待防止研修（全職員社内研修）
- ・中小企業家同友会例会（神戸、宇賀神、桐生、大貫）

- ・経営指針セミナー（神戸）

3. 安全・安心

（１）防災管理

- ・消火、通報、避難誘導の訓練を年２回実施
- ・消防設備の定期点検を年２回実施（委託業者：（株）メディア・システム）

（２）危機管理

- ・事故・ヒヤリハット ０件

報告書はなかったが、小さなヒヤリハットについては終礼で共有した。（終礼記録）

課題

- ・作業時間内に報告書を作成する余裕がない。（人員不足）
- ・終礼時にその都度報告書を作成することにした。

（３）苦情解決・虐待防止

- ・職員の対応に関しての苦情はあったが、苦情処理の手続きはしたくないとの事だった。精神障害のある方の場合、法人内での対応は難しい為、専門機関や、医療機関との連携が必要。
- ・栃木県運営適正化委員会の巡回相談に申し込んだ。
- ・虐待に対する申し出はなかった。

4. 送迎サービスの実施

- ・市内循環２コース運行

※ ルートを固定し、安全運転マナーを守る。

5. 余暇活動

- ・今年度は、余暇活動だけの開所日をなくし、作業と余暇活動を選べるようにしたところ、余暇活動へ参加する利用者が少なかった。
- ・プレミアムCOCOVOが、OB・OGにとっての余暇活動として有効だった。
- ・自立して余暇を楽しめる人が増えてきたので、仕事へのモチベーションが高められることを目標に計画していく。

6. 生活支援

健康管理

- ・毎月の体重測定
- ・服薬状況の把握
- ・年１回の健康診断
- ・インフルエンザ予防接種の実施（奥山医院：ダック）

相談援助

- ・精神的不安を抱えている方への相談（予約制）
- ・家族支援

7. 環境整備

- ・神社清掃を行ったことで、地域に貢献できた。

8. 地域・関係機関との連携

（1）CCVだよりの発行、HP、フェイスブックの更新管理

- ・フェイスブックの発信を定期的実施
- ・CCVだよりの発行（年1回）
- ・CCVウエルフェア月次予定表の配布（施設内情報の発信）

（2）実習生の受け入れ

- ・栃木特別支援学校が被災したため、2学期の実習が中止になった。その後の日程調整ができず、実習を受けることができなかった。
- ・就労アセスメントは、個別評価（職業検査）と書類作成が必要だが、5日間での依頼が多く、支援員の負担が大きい。

（3）地域連携

- ・フリースクールやKDSとの連携を強化したことで、福祉と教育の枠を超えたサービスを提供するための基礎ができた。中小企業家同友会の全国大会で報告、広報誌でも紹介されたことで、全国から問い合わせや見学者があった。地域でも本業を通して地域を良くしようという企業家と共に活動し、CCVの活動を理解していただくことができた。